

## ニューヨークのお茶事情について

### 1. お茶・飲料事情

23期 遠藤裕美

2017年9月半ばにニューヨークに参り、1年が経ちました。現在のニューヨークの飲料事情などについて、わかる範囲でお伝えしたいと思います。

始めにスーパーなどでのお茶売り場の様子ですが、最初に驚いたことは、green teaのコーナーがかなり割合を占めていることでした。茶葉はティーバッグが主流で、普通のgreen teaもありますが、それに他のフレーバーがプラスされたものも多く見られます。

例えば、ジャスミングリーンティー、ミントグリーンティー、レモングリーンティー、ポムグレード&クランベリーグリーンティー、ブルーベリーグリーンティー、チャイグリーンティー、アールグレイグリーンティー、といった具合でその種類は豊富にあります。

また、抹茶も大変人気ようです。オーガニック系スーパーでは、抹茶のパウダーや、ミルク入りの粉末のMACCHA LATTE（抹茶ラテ）缶もありましたので、「MACCHA」が幅広く浸透していることがわかります。他にもほうじ茶、玄米茶なども時折見かけます。



ニューヨークは健康志向の方が多いため、抹茶やグリーンティーが体にも良いとされ、すでに生活にも浸透しているのだと実感としてわかりました。

ただ地元のアメリカ人の方によると、そうしたグリーンティーにも必ずお砂糖を入れて飲むというのが普通だそうです。そして先ほどのgreen teaのコーナーでもわかる通り、とにかくアメリカ人は大の「フレーバー好き」ということです。特にニューヨークは、ヨーロッパやアフリカ、南米、アジア系等々、世界中の国の人々が集まっていますので、そうした幅広い人種や乾燥した土地の気候や風土にも合うように、数

多くの選択肢があったり、いろいろなフレーバーが好まるのかもしれませんが。

また抹茶と言えば、現在ニューヨークでは人気の抹茶専門カフェ、MATCHA BAR や Cha Cha Matcha もあり、賑わっているようです。ホットやアイスの抹茶ドリンクや、抹茶のスイーツやソフトクリームなども販売されているようです。

他にお茶売り場ではハーブティーも数多く見られます。カモミールやルイボス、ペパーミントなどは、ほとんどのスーパーでよく見かけますが、こちらもやはり単体よりプラス何かのフレーバー味といったものが人気のようです。ミントやベリーやレモン、ジンジャー等のフレーバーがプラスされたものが数多く見られます。デトックス、エネルギー、ベッドタイム等の健康を意識した名前のついたハーブティーもしばしば見られます。

一方、ブラックティーを見ますと、一般的なスーパーでは、イングリッシュブレックファーストやアールグレイなどのティーバッグの紅茶が主流で、その種類はあまり多くはありませんでしたが、オーガニック系や少し高級なスーパーなどではセイロン、アッサムやダーズリン等の紅茶が揃っているところもあります。ティーバッグとリーフティーのどちらも販売されていました。またアッパーウエストの食材店には、スーパー独自のリーフティーを販売しているところもありました。上記の種類以外にも、Orange cranberry、 Almond Sugar Cookie Tea、 Apple Cinnamon coffee cake tea 等のユニークでオリジナルな名前の紅茶が売られていました。これらの名前からもニューヨークらしい好みや味が伝わってきます。オレンジクランベリーティーを買って飲みましたがセイロン系の茶葉に乾燥したフルーツの実が入ったやわらかめの味でした。このように全体的にニューヨークでは様々なフレーバーティーが人気なのがわかります。



紅茶のブランドもスーパーによって様々です。

例を挙げますと、北米系の Choice や Allegro、TWININGS、PGtips、Taylors、yogi、TAZO、PUKKA、KUSMI TEA、 Mighty leaf 等々多種類に渡ります。またスーパーの自社

ブランド品もあります。他にデパートや高級食材店や高級デパートに行きますと TWG やマリアージュフレール、F&M など各国有名メーカー等がそろっています。



上記のお茶コーナーの特徴として、それぞれディカフェ(カフェインレス)もかなり揃えられていることも挙げておきたいと思います。健康のためカフェインを気にされる方も多いようで、知り合いのアメリカ人は午後6時以降はカフェインをとらないようにしているということでした。また、スーパーにもよりますが、オーガニックのお茶もかなりの種類で並んでいます。選択肢が多いことがやはりアメリカのスーパーの特徴だと感じます。

また粉末の Iced tea 用の Lipton イエローレベル缶も、一般のスーパーでしばしば見かけました(これもレモンフレーバー入りが多いです)。冬場でも販売されていたので、アメリカではやはり手軽にアイスティーを作って飲まれているのではと想像します。



他の飲料では、オーガニック系スーパーでは、ボトル入りのコールドプレスジュースが人気のようです。緑の野菜のケールやホウレン草、アボカドやレモン、ジンジャー、ベリー系等々いくつもの野菜やフルーツなどをブレンドしてパックされたものが数種類販売されています。500~600ml で一本 1000 円近い値段です。

マンハッタンのビジネス街の街中にもコールドプレスのジューススタンドがかなりあります。簡単にヘルシーに栄養補給したいビジネスマンにも人気が高いようです。健康維持やプロテイン補給、美容やデトックス等さまざまな種類があります。こちらはかなり濃厚なものが多く、一食分の満腹感もあります。お値段は最低でも一杯 1000 円以上とやや高めです。

今回はニューヨーク・コーヒー事情をお届けいたします。